

兵庫県フットサルリーグ２０２５ ミドルリーグ 実施要項

名称	兵庫県フットサルリーグ２０２５ ミドルリーグ
主催	特定非営利活動法人 兵庫県フットサル連盟
主管	特定非営利活動法人 兵庫県フットサル連盟
協力	(一社) 兵庫県サッカー協会審判委員会 (一社) 兵庫県サッカー協会審判委員会フットサル部
協賛	ペナルティ
期日	２０２５年４月～２０２６年２月
会場	ペナルティスタジアム神戸、三木山総合公園総合体育館、加古川市立体育館、五色台運動公園アスパ五色体育館、高砂市総合体育館 他
表彰	優勝チームに表彰状、トロフィーを授与する。
参加資格	- 当該年度の公益財団法人日本サッカー協会のフットサル登録を行った、１６歳以上（ただし、高等学校在学中の選手にはこの年齢制限を適用しない）の選手により構成されたチームであること。 また、未成年者については保護者の同意書が必要。２０歳以上の引率者がいること。 - 第１項のチームに登録された選手であること。 - 第１項の定めるチームには、１チームあたり３名までの外国籍選手の登録を認める。 ただし、試合中同時にピッチ内に２名を超えてはならない。 - 男女の性別は問わない。 - 公益財団法人日本サッカー協会発行のフットサル大会登録票および選手変更届（追加届を含む）を持参していること。 - 参加チームは、傷害保険（スポーツ安全傷害保険）に加入していること。 - チームを構成する選手の過半数が、兵庫県在住、在勤、在学のいずれかであること。 また、その選手およびチームは、ほかの都道府県の今年度リーグに登録または出場していないこと。 - 上位リーグを目指すチームであること。 前年度、入替戦およびトップリーグ参入辞退のチームは登録を認めない。
ユニフォーム	- 大会登録後は、背番号の変更およびユニフォームの色などの変更は、兵庫県フットサル連盟登録変更の承認を得た場合のみこれを認める。 - ユニフォームの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に基づき承認を得た場合のみこれを認める。 なお、申請に関してはGoogleフォームを活用した電子申請となります。 詳細は、(一社) 兵庫県サッカー協会HP (https://hyogo-fa.gr.jp) に記載されてます 手続き案内を確認の上申請してください。 ただし、ユニフォームの広告表示により生じる会場などへの広告掲出料などの経費は、当該チームで負担すること。 - ユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）は、正の他に副として、正と異なる色（同色系は不可）のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）を本大会申込書に記載し必ず携行すること。 シャツのインナーは、袖の主たる色と同色、アンダーショーツおよびタイツはショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。且つ、チームで（ブランド（メーカー）も含めて統一すること。 このとき、ユニフォームは同一のメーカー、デザインに限る。なお、各試合ユニフォームの決定は主審にある。 - ゴールキーパーのユニフォームについては、フィールドプレイヤーとしてプレーしていた競技者がゴールキーパーとしてプレーする場合は、ゴールキーパーのユニフォームと同色、同デザインであることを基本とする。 ※パワープレーをする際は必ずパワープレー用のユニフォームを正副１着用意することとし、MCMにて確認をとること。 - ユニフォームは、審判が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。 - トラウザーの着用を認める。ただし登録と色が違うものは認めない。 - 背番号は、必ず本大会登録票に記載された選手固有の番号を付けること。 選手番号については、１～９９までの整数とし、０は認めない。１番はゴールキーパーが付けることとする。 - 背番号は、シャツの前面、背面に大会登録票で登録した選手番号をつけること。パンツにも選手番号をつけることが

	望ましい。 選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。 9. 貼り番号は、原則認めない。ただし2026年度以降は不可となるため、2025年度は移行期間措置として認める。 ただし、ユニフォームと同色、同デザインとし、4辺全てが縫いつけていること。 尚、当日、審判の判断で不可となる場合もある。 10. マッチコーディネーションミーティング（MCM）時には、ユニフォームを着用せず、正副（濃/淡）それぞれを持参することとする。 ストッキングを切る（セパレートタイプ）場合は、下のソックス部分も同時に持参すること。 11. ビブスを持参すること。 12. その他、ユニフォームに関する事項については、日本協会のユニフォーム規定に則る。 13. 「チームキャプテン」は、次のようなアームバンドを着用しなければならない。 単色のアームバンドで「Captain」と言う単語もしくは「C」という文字やその翻訳された単語・文字（主将・主など）も入れることができるが、単色でなければならない。
競技規定	1. 当該年度の公益財団法人日本サッカー協会発行の「フットサル競技規則」および決定事項による。 2. 競技時間（試合時間） 30分間（プレイングタイムで各15分間の2つのピリオドとし、ハーフタイムのインターバルは8分間（第1ピリオド終了から第2ピリオド開始）までとする。 3. ピッチサイズ（原則として40m×20mとするが、会場によりその限りではない。） 4. 使用球（公益財団法人日本サッカー協会認定のフットサル用ボール） 5. シューズ スパイクシューズ、および靴底が着色されたもの、イボイボ状のものは使用できない。 （靴底は飴色または白、若しくは無色透明のフットサルシューズのもの） 6. マッチコーディネーションミーティング（MCM）は下記の通り行う。 当該チームの試合開始前に両チーム代表者（責任者）、審判員、マッチコミッショナー、運営（マッチコミッショナー兼務の場合もある）によりマッチコーディネーションミーティングを実施する（時間厳守） 第1試合目のMCMはキックオフ開始30分前に行う。 第2試合目以降は、前の試合のハーフタイム終了後速やかに行う。 会場は当日運営から指定される場所にて行う。 持参するもの：ユニフォーム（正副）、ビブス、メンバー表、選手証（電子他）、 広告申請許可書（開幕時にコピーを提出） 7. 競技者の数 競技者の数：5名 交代要員の数：9名以内 ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内 8. チーム役員 4名以内（ただし、通訳が試合に登録されている場合は、5名以内とする。） 9. チームは必ずフットサル選手登録証（顔写真付きの電子選手証）を提示すること。 （マッチコーディネーションミーティング時にメンバー表と確認する） スタッフがベンチ入りの際、カジュアルな服装は禁止する。 スーツ（ジャケット、スラックス）または、トレーニングウェア、スエットでフットサルシューズ（体育館シューズ）を履くこと。スリッパ、素足は厳禁。 ただし、夏季（6月～10月）においては、ハーフパンツ、 Poloシャツは可とする。 10. 選手の移籍（登録・抹消手続き）の期限は、2025年11月23日までとする。 手続き方法は、移籍承認書、宣誓書、追加登録、移籍元チームのJFA選手変更届（抹消）写しと、JFA選手変更届の追加）写しをリーグ事務協に提出すること。 事務局提出後、7日後の試合より出場することが出来るものとする。 13. ビブス 両チームのシャツと相手チームのビブスの色と異なるものをシャツの上に着用する。
	【前期】 全14チームをAブロック（7チーム）、Bブロック（7チーム）に分け、総当たりリーグ戦を実施する。 【後期】 前期リーグの結果から上位、中位、下位の3ブロックに分けてリーグを行う。

大会形式	上位リーグ 前期A1位／2位、B1位／2位（4チーム） 中位リーグ 前期A3位／4位、B3位／4位（4チーム） 下位リーグ 前期A5位／6位／7位、B5位／6位／7位（6チーム） ※下位リーグは6チームを3チーム毎に2ブロックに分けリーグ戦を行う。その後、各ブロック同一順位同士が対戦し、最終順位を決める。 順位は、勝点合計の多いチームを上位とする。リーグ戦における勝点は下記の通り。 勝ち3、引き分け1、負け0とする。ただし勝ち点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。 ①当該チーム内の対戦成績 ②当該チーム内の得失点差 ③当該チーム内の総得点数 ④リーグ戦の総得失点差 ⑤リーグ戦の総得点数 ⑥リーグ戦の総失点数の少ないチーム ⑦下記の基づくポイント合計がより少ないチーム ア) 警告1回 1ポイント イ) 警告2回による退場1回 3ポイント ウ) 退場1回 3ポイント エ) 警告1回に続く退場1回 4ポイント ⑧抽選
組合せ	日程、組合せは、4月12日の代表者説明会にて、兵庫県フットサル連盟で決定する。
審判	（一社）兵庫県サッカー協会審判委員会より派遣する。 ※第2審判、TK（タイムキーパー）、記録は割当てられたチームで行う。 （ベナスタ以外での開催の場合は、BPの割当もあります） 第2審判とTK（タイムキーパー）は予め割り当てられたチームの審判資格取得者が実施する。 ☆審判証を持参すること。試合前に確認いたします。 ※日本協会公認フットサル審判員ライセンス保有者が2名以上の資格を保有することが望ましい。
昇格 入替戦	上位2チームは、次年度トップ2部へ自動昇格とする。 入替戦の出場枠に関しては、レギュレーションも含めて後日発表とする。 ※関西リーグ所属チームの昇降格や次年度継続チーム数により、変更となる場合がある。 ※本要項に記載のない不測の事態が生じた場合は、本連盟理事会にて措置を決定する。 1年を通して運営に非協力的なチーム、遅刻などに関しては戦績に如何に関わらず次年度の登録を行えない場合がある。
懲罰	1. 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できない。 さらに以降の試合においても出場停止の処分を科すか否かは、本連盟規律委員会にて協議の上、決定する。 2. 本大会中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。 上記2項により出場停止処分を受けたとき、または本大会の終了とき、累積は消滅する。 3. 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。 ただし警告の累積によるものを除く 4. その他、本大会の懲罰に関する事項については、本連盟規律委員会が決定する。 5. マッチコーディネーションミーティングに5分以上遅れた場合の懲罰は下記の通りとする。 （なお、マッチコーディネーションミーティングに遅刻した場合は、開始10分までに行えれば試合を行う） 該当試合における勝点3を2、引き分けにおける勝点1を0、負けの場合は0を－1とする。 6. 割当をされた該当試合に第2審判員、TK（資格保有者）、記録員がいない場合の懲罰は下記のとおりとする。 リーグ戦における勝点3を減じる。
リーグ規則	1. 大会要項に違反、その他不都合な行為があった場合は、規律委員会に諮り、その選手またはチームの処分を決める。 2. 疾病手当については、救急車の手配は行うがその後についてはチームの責任において処置すること。 3. 会場準備は、当日第2試合目に試合を行うチーム（4チーム）で行うこと。各チーム3名以上の参加を義務とする。 準備は第2試合の両チームで会場準備（ピッチ作成他）、また、最終試合両チームは会場の片付けを行うこと。 4. ゴミはすべて各チーム、個人で持ち帰ること。 5. ボールを使つての練習は、決められた場所以外禁止とする。 6. 試合開始時間前に出場選手は、審判のチェックを必ず受けなければならない。怠った選手の出場は認めない。 7. マッチコーディネーションミーティングの欠席または試合開始10分前に間に合わない場合については不戦敗とする。

	8. 役員登録は4名（通訳がいる場合は5名）とする。ベンチ入り役員については、当日試合に出場しない選手は役員としてベンチ入りできる。ただし、メンバー表に役員として記載すること。 9. 本大会は、参加者の事故、傷病、傷害、会場破損事故などに関しては、一切の責任を負わないものとする。 10. チームまたは個人のスポーツ安全保険などで対応すること。 11. 参加に要する経費は、すべて参加者負担とする。 12. 熱中症に関して注意を怠らず、こまめな水分補給を心がけること。 13. その他、不測の事態については、その都度、協議し対応を決定する。
傷害補償	1. チームの責任において加入すること。 試合中、練習中を問わず場内外の器物破損が発生した場合は、当該チームにおいて弁済するものとする。 特定できない場合は、出場全チームで責任を負うこと。
負傷対応	1. 競技中の疾病・傷病の処置は当該チームにて行い、主催者側は一切の責任を負わない。
その他	1. 交代要員は、ビブスを着用すること。 2. シャツやパンツのインナーはチームでブランド（メーカー）、色を合わせること。 ※（例）同じ赤色でもブランド（メーカー）により色が違うため、その場合は着用できない。 3. ストッキングの穴やパンツの穴にも十分気をつけること。 ※審判の判断により試合に出場できないことがある。 4. ストッキングを切る（セパレートタイプ）場合は同色テープで隠す。その際も、チームで統一されたテープを使用する。 また、その際ソックス部分も色を統一すること。「大会登録票」ユニフォームのストッキング欄には、ストッキング/ソックスのそれぞれの色を記載すること。 5. 特にユニフォーム規定に不備があるチーム、または不備のある選手がいる場合は、理由の如何を問わず試合は実施しない。または不備のある選手は出場できない。 6. 一方のチームにの責に帰すべき事由により、開催不能または中止になった場合は没収試合とし、その帰責事由のあるチームが0対5の不戦敗とする。（ただし、当該チームにとって、実際の試合結果における得失点差のほうが不利となる場合は、実際の試合結果を有効なものとする。 【帰責事由例】 ・キックオフまでに選手証（電子他）写しが提出されない。 ・キックオフ時に競技者3名に満たない。 ・そのほか本連盟が開催不能または中止すべきと判断したとき。 7. 参加チームと選手は、日本協会の基本規程および付属する諸規定（ユニフォーム規定、懲罰規定、JFAサッカー活動の再開に向けたガイドライン等）を遵守しなければならない。 詳細については、日本協会ホームページを参照すること。（http://www.jfa.jp/） 8. SNS（静止動画に限る）投稿は認めるが、動画の撮影については本連盟理事会で決定されたルールに従うこと。 ピッチ内での写真撮影、動画撮影は一切認めない。ただし、集合写真は除く。 9. 以下の1）、2）、3）に違反した場合は、勝点からそれぞれ1点を減じる。 1）割当の審判、記録を行わなかった場合および審判担当に必要な用具（審判服、審判証、ホイッスル、カード）を持参しなかった場合。 2）代表者会議を欠席した場合 3）会場準備担当のチームが準備開始時刻に3名以上来てない場合。 10. 棄権試合を2回行ったチームは、当該年度のリーグからの登録を抹消し、それまでの戦績をすべて抹消の上、以降の試合は行わないこととする。 11. 本大会の運営に非協力的、あるいは支障を来す行為を行ったと判断された場合や、参加チーム・審判員・運営スタッフ等への著しくリスペクトを欠いた行為（大会後やSNSへの投稿を含む）が認められた個人が所属するチーム、またはマナーの悪い個人が所属するチームは、大会規律委員会および本連盟理事会で協議の上、成績の如何に関わらず次年度の兵庫県フットサルリーグ各リーグへの登録や、昇格を認めないなどの措置がなされる。